

## ごみ減量を進めながら市民負担の軽減を求める決議

丹波市の燃やすごみ袋の料金は、合併以降大袋1枚100円でスタートし、その後、20円引き下げ現在の80円となっている。

これは、近隣自治体と比べても2倍近い料金となっており、引き下げてほしいという要望が市民から出ている。

一方、クリーンセンターにおける処理量は限界に近い状況となっているが、そうした中で令和9年度からは山南地域のごみを丹波市で処理する計画になっている。将来的に相当の処理量が見込まれることから、今後一層のごみの分別を進め減量化を推進し、ごみ処理を安定化させなければならない。

現在のごみ袋料金は「丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例」の中で減量施策の一環として位置づけられていることから、議会ではこれまで、ごみの減量施策と整合したごみ袋料金改定の必要性を指摘してきた。

令和4年9月議会では「ごみ袋半額化」に関する2回目の提案がなされたが、当局からは、1回目と同じ提案主旨かつ補足の説明もない提案であり、1回目提案の否決時に示された議会からの懸念に真摯に向き合われたか疑問が残るところであった。

については、今後当局においては、ごみの減量化を一層進めながら、市民の期待に応え、半額化にこだわらず、燃やすごみ袋料金の引き下げを含むごみ袋料金体系全体の見直し、及び各種施策を通し、結果的に市民負担の軽減につながるよう検討することを求めるものである。

以上、決議する。

令和5年3月29日

丹波市議会